



校長室だより

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和6年5月29日

第9号

残念です。楽しみにしていた28日(火)の「黒部市小学校連合体育大会」が中止となりました。市内の小学5・6年生が宮野山に一堂に会して陸上競技に親しむよい機会でしたが、雨天のためということで仕方ありません。あとは昨年度同様、各校での分散大会となりました。本校は30日(木)の9時から行うことにしました。あとは当日に雨が降らないよう祈るだけです。練習し慣れたグラウンドで競技するのも、考えようによってはよいことかもしれません。分散大会の様子は次号でお知らせします。

家庭訪問、よろしくお祈りします！

明日30日(木)・明後日31日(金)と家庭訪問を実施します。各ご家庭でお時間を取っていただきありがとうございます。担任と保護者とが個別にお話しできるせっかくの機会です。お互いにとって有意義な時間に出来ればと思いますので、どうぞよろしくお祈りします。

★お子さんのよいところをたくさん教えてください！

家庭訪問に先立ち、私は担任の先生方に「それぞれの子供のよいところをたくさん保護者の方に教えてあげてください」とお願いしました。是非保護者の皆さんも、小さい頃から現在まで、ご家庭で見られるお子さんの素敵なエピソードをたくさん担任に教えてください。

子供が大きくなるにつれて、我が子をほかと比べ、長所よりも欠点ばかりが目につくのが親の性(さが)というものです。欠点に見えるところも見方を変えれば長所となり、その子ならではの味わい深い個性と見ることができます。まずはそこを周りの大人が信じていきましょう。こうした捉え直しは「リフレーミング」とも言うそうです。右に例を挙げておきますので、考え方の参考にしてください。

＜上手にリフレーミングして自己肯定感もアップ＞	
作業が遅い	↔ 作業が丁寧、着実
引っ込み思案	↔ 物事を慎重に進められる
けんかっ早い	↔ 素直に感情が出せる
うるさい	↔ 活発で元気がいい
頼りない	↔ 控えめで優しい
面倒くさがり	↔ 物事にこだわらない
すぐ泣く	↔ 感受性が豊か
飽きっぽい	↔ 興味の範囲が広い
緊張しやすい	↔ 思慮深い、場の雰囲気分かる

★子供のゆっくい成長する姿を信じて懇談しましょう！

担任から聞くお子さんの様子が家庭での様子と全然違うこともあるかもしれません。でもそれが人間というものなのでは、と思います。我々大人が仕事で頑張った分、家でリラックスしているのと同様、家でわがまを言ったりのんびりし過ぎていたりするような子供ほど、学校では意外としっかりと行動しているものです。逆に、家でしっかり親の言うことを聞いている子ほど学校では…？ まあ、必ずしもそうとは言えないかもしれませんが、ともあれ子供も子供なりにその時々でスイッチを切り替えて自分自身の中のバランスをとっています。そうしてほどほどに心身をリセットし、毎日を元気に過ごしていきます。

担任は、それぞれのお子さんのよさや可能性を信じつつ、学校での出来事をお知らせします。一見よくないと思われる言動が見られても、その背景にはその子がその時そうするしかなかった事情があることを理解しています(理解しようと努めています)。お子さんのゆっくりと成長する姿を心から応援し、保護者の皆さんと温かい気持ちで情報交換しながら懇談できればと思っています。

このほか、家庭訪問の機会を利用して通学路の確認、個別の確認事項等もさせていただきます。各お宅平均して10分間程度の短い時間となりますが、よろしくお祈りいたします。

読者の方から感想をいただきました

- ・毎号楽しみに拝見しています。第7号の「元気でやりぬく子」で、子どもの小さな失敗を大らかに受け止める度量をもって子どもの成長をしっかりと見守っていきたいという気持ちでとても同感し、心を動かされました。
- ・ぜひとも感想欄を拡張していただければ幸いです。子供の感情にいかに向き合うか難しく思うことも増えてきました。親も共に勉強していきたいです。

ありがとうございます。自分自身の子育てと、担任としての経験、校長になってから見聞きしたこと、考えたことが中心ですが、子育て談義代わりに、少しでもこの紙面で皆さんとつながり合いたいです。感想欄は今号より少し拡張しました。裏面もぜひお使いください。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()

自分の声で伝え表現する達成感を～第1回玉椿集会を終えて～

27日(月)の5限に、今年度1回目の玉椿集会を行いました。今回は全校で14人の子供たちが「助け合う子」「よく考える子」「元気でやりぬく子」の玉椿賞を受賞しました。受賞者は、何をどのように頑張ったのかを順にスピーチしました。初体験の1年生2名も、大きな声ではっきりと伝わるように話すことが出来ていて感心しました。家でしっかり練習してきたそうで、なるほどと思いました。

また、集会の初めに皆で歌った今月の歌「気球に乗ってどこまでも」の歌声もとても元気でした。

自分の声で伝え、表現する達成感を、これからも味わってほしいと思います。



シリーズ「教室におじゃまします」5/28(火)3年図画工作科の巻

「カラフルねん土でマイグッズ」の1時間目でした。教科書には「森と空のメッセージクリップ」「ちょうがとびかうペン立て」等、イメージが膨らむような見本の作品がたくさん載っています。村田先生はスクリーンに自分の手元を映しながら、白い紙粘土に絵の具を混ぜる方法や、それをポリ袋に入れて乾燥を防ぐ方法、またカラフルねん土をめん棒でのして広げる(そば屋さんのように)方法などを実演して見せました。子供たちはあとで失敗しないようにと、興味津津で説明を聞いていました。図工が大好きな子供たちの集中力を感じます。

そうしてよいよ創作タイムとなりました。子供たちは4人1グループになって相談したり互いをチラ見したりしながら、真剣に、かつ楽しげに活動しました。土台になるプラトレイやカップ等は各自があらかじめ家から準備してきたもので、バラエティに富んでいます。そこにカラフルねん土を板状にして貼り付けたり、さらに上から重ねたりと、工夫して取り組んでいました。最後は、わかば級の寺崎先生が廊下に準備した台に、各自作りかけの作品を並べました。すでにバラエティに富んでいて、完成が楽しみです。



<おまけのひとりごと> 自分が担任の時の家庭訪問の大失敗と言えば、あわてて車をバック駐車しようとした際に、お宅の前の溝に後輪がはまってしまったことです。車がガクンと下がってしまい、とんでもないことに…。家の前で待ち構えておられたお母さんからの電話連絡を受け、お父さんまで戻ってこれ、ご夫婦そろって私の車を引き上げてくださいました。ほっとしましたが、かなりの時間オーバー。三者懇談のような家庭訪問をして、お礼もそこそこに次のお宅へと急ぎました。あのときは本当に焦りました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()